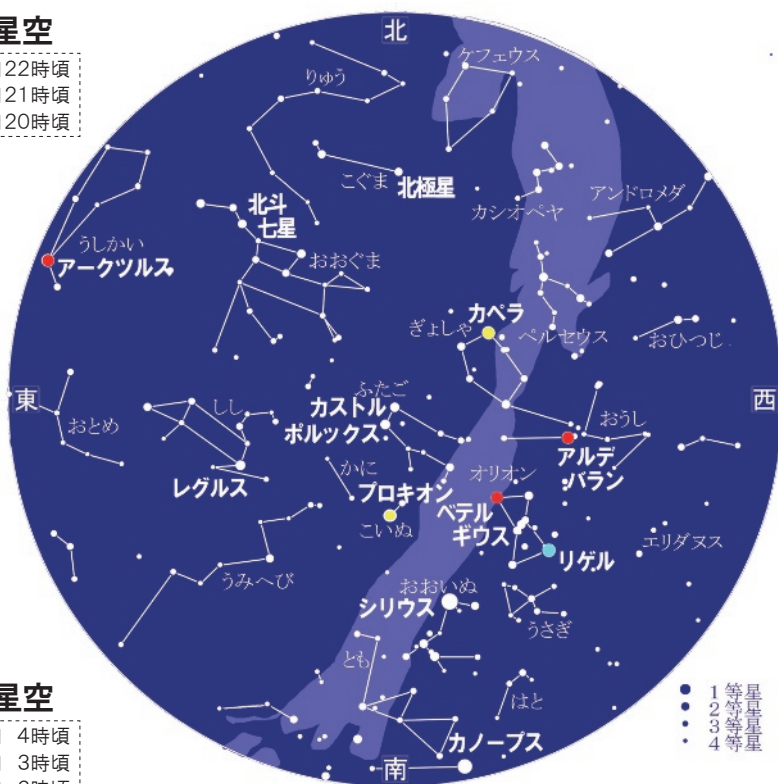


星空ガイド 2月16日～3月15日

よいの星空

2月16日22時頃
3月 1日21時頃
15日20時頃



あけの星空

2月16日 4時頃
3月 1日 3時頃
15日 2時頃



[太陽と月の出入り(大阪)]

月	日	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
2	16	6:42	17:41	17:10	6:39	14.9
	21	6:37	17:46	22:26	9:08	19.9
	26	6:31	17:50	3:02	12:40	24.9
3	1	6:27	17:53	5:45	16:08	27.9
	6	6:21	17:57	8:22	21:32	3.4
	11	6:14	18:02	11:14	1:27	8.4
	15	6:09	18:05	14:56	4:36	12.4

カノープスを見よう

冬は明るい星が多く、星空がにぎやかです。一等星は、オリオン座のベテルギウス、リゲル、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオン、ふたご座のポルックス（カストルは二等星）、ぎょしゃ座のカペラ、おうし座のアルデバランの7つあります（左ページの星図を参照）。

さらに今の時期にだけ大阪の空に8つめの一等星を見つけることができます。りゅうこつ座のカノープスです。この星の明るさはマイナス0.7等で、シリウスに次いで全天で二番目に明るいですが、大阪では南の空かなり低いところで輝くため、ナンバー2の割には明るく見えず、とても見つけづらい星です。

カノープスの見ごろは3月中旬ごろまでです。2月中旬であれば夜9時ごろ、3月中旬であれば夜7時ごろ、南の方角にあまり高い建物がなくて、ぜひチャレンジしてみてください。まずは冬の大三角を見つけて、ベテルギウスとプロキオンを結んだ線の中央とシリウスをつないで、その線を1.5倍ほど地平線近くまでのばしていくと、見つけられます。肉眼で見つけられない場合は、双眼鏡があると良いでしょう。

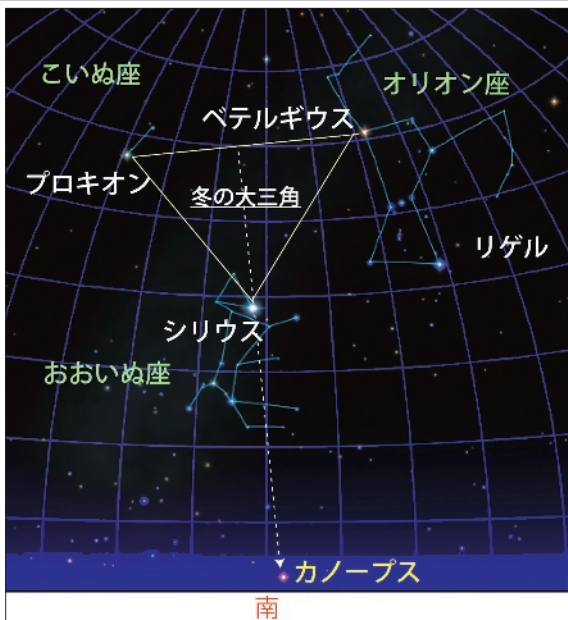


図. 3月1日 20時00分頃の大阪の空

※ステラナビゲーター10にて作図

[こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
2	17	木	○満月(2時) 水星が西方最大離角
	19	土	雨水
	23	水	天皇誕生日
	24	木	●下弦(8時)
	27	日	月が最近(367,800km) 明空に月、火星、金星がならぶ

月	日	曜	主な天文現象など
3	3	木	●新月(3時)
	5	土	啓蟄 木星が合
	10	木	●上弦(20時)
	11	金	月が最遠(404,300km)

西野 藍子(科学館学芸員)